

# 新たな 2020 事業案内 創造への挑戦





## 経営理念

### 未来への心をつなぐパートナー “農をはぐくみ 地域をつなぐ”

私たちは「農業王国ふくしま」の新たな創造に挑戦します。  
くらしの豊かさと安心を追求し、笑顔あふれる地域を未来へつなぎます。  
私たちは、みなさま一人ひとりの心をつなぐパートナーの役割を、  
誠実・確実に果たしてまいります。

- 一. ふるさと福島を愛し、豊かな自然、水、光を未来へつなぎます。
- 一. 創造と挑戦により、多様な農業・文化を次代につなぎます。
- 一. 豊かなくらしを創るため、協同活動の和をつなぎます。
- 一. 地域の笑顔をいつまでも、人と人、心と心をつなぎます。

## JAふくしま未来の概要

- 名称 ■ ふくしま未来農業協同組合
- 所在地 ■ 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
- 設立 ■ 平成28年3月1日
- 管轄地 ■ 福島市、伊達市、二本松市、本宮市、相馬市、南相馬市、  
伊達郡川俣町、伊達郡桑折町、伊達郡国見町、  
相馬郡新地町、安達郡大玉村、相馬郡飯館村 の12市町村
- 出資金 ■ 159億9千万円
- 組合員 ■ 94,543人 (93,760人、783団体)  
うち正組合員 46,421人、188団体  
准組合員 47,339人、595団体
- 職員数 ■ 1,688人
- 事業所数 ■ 支店数 64 出張所 2 営農センター 27 出張所 1  
農産物直売所 12



JAふくしま未来

### ロゴマーク

「ふくしま(FUKUSHIMA)」と「未来(FUTURE)」のFをモチーフにシンボルカラー(みらいろ)を基調とし地域の農産物が実っている姿、大きく羽ばたく未来をイメージしています。

横のマークは、人と人、地域をつなぐ“輪・和”をイメージ、JAふくしま未来が大きく未来に向かって広がっていく姿を現しています。

## 沿革・あゆみ

- 平成25年3月 福島県北地区JA合併協議会設立
- 平成27年9月 合併予備調印式  
10月 合併総代会
- 平成28年3月 ふくしま未来農業協同組合発足  
4月 JAふくしま未来女性部本部設立総代会  
5月 第1回通常総代会  
6月 あんぱ工房みらい完成  
9月 JA歯科医院もとみや開所
- 平成29年3月 ころんしょ市(二本松) グランドオープン  
4月 山木屋支店営業再開  
5月 第2回通常総代会  
7月 エフコープ、エフコープおおいた連携協定調印式  
11月 管内各市町村「地域見守り活動」協定締結
- 平成30年5月 第3回通常総代会  
7月 東京農業大学との包括連携協定締結式  
9月 (株)JAふくしま未来サービス発足
- 平成31年・令和元年  
5月 第4回通常総代会  
7月 福島大学食農学類との包括連携協定締結式  
9月 JAふくしま未来サービス出発式



# 主な事業の内容と活動報告

## (創造的自己改革の取り組み)

### 創造的自己改革

組合員の願いを実現するため、JAが多様な農業・地域の実態に応じて、自らの創意工夫に基づく積極かつ多彩な事業と組織活動を展開し、地域の農業とくらしになくならない組織となることを目指す改革です。



### 営農指導事業

農家を対象に栽培技術や販売に関する指導を行ったり、農家からの営農指導の相談にのったりします。

さらに、農家の担い手や農業法人などを育成することも大切な役割です。

指導事業は、JAが取り組む様々な事業を有機的に結びつけ、事業を利用する方々の満足度を高めるための土台となっています。

### ◇農業のさらなる発展・成長のために

JA自己改革の「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて、「農の達人」による営農指導、担い手涉外・営農指導員による巡回、常勤役員による認定農業者等との意見交換に取り組んでいます。



### ●農の達人

各地区の中核農家を「農の達人」(7品目・16名)として委嘱。その時期の作業における技術を指導し、生産者の技術向上を目指します。

### ●JGAPの取得促進

農場やJA等の生産団体が活用する農場・団体管理の基準であり、認証制度です。

団体認証3部会、151農場で取得(302.5ha)  
JGAP指導員180名、内部監査員169名

### ●農業支援体制

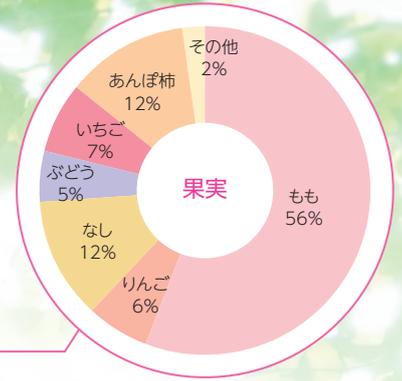
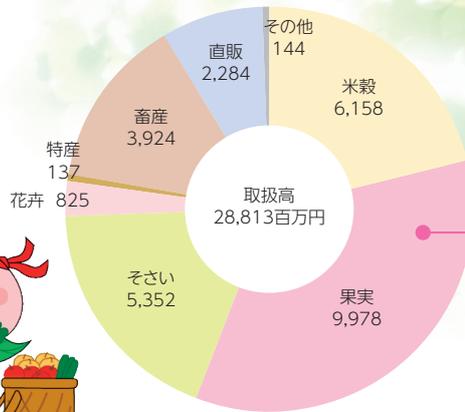
- ・新規就農者支援-担い手育成給付金事業利用者161名
- ・農業法人、集落営農組織-新規2組織
- ・認定農業者等担い手と常勤役員による意見交換会の実施



## 販売事業

農家の皆さまが生産した農畜産物を集めて、卸売市場や量販店などに出荷・販売します。

どう有利に販売するかは、組合員の所得を高めることになるため、JAの最も重要な仕事です。



### ●販売戦略の強化

主要市場による有利販売、直接販売や買取販売等、新たな販売手法・輸出等の販売拡大により、販売単価を更にアップ、販売品販売高300億円を目指します。

タイ・マレーシア・インドネシア等に、もも、なし、りんご等、約106t輸出しました。



### |管内12直売所の販売強化



### | 6次化商品の取り組み



### |カタログ販売の充実:「ふるさと小包」、[旬のお届け]



### ●地産地消を応援!!

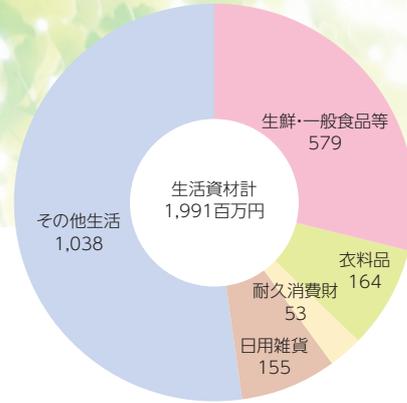
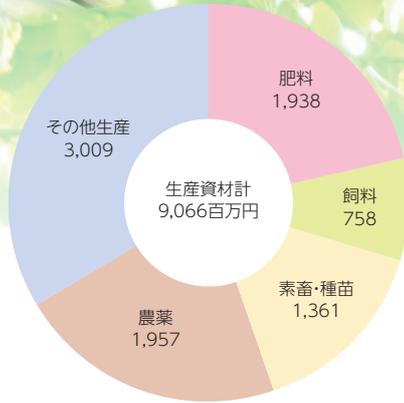


「みらいポイントカード」  
 会員数60,790名 (令和2年6月末時点)  
 ・お得なポイントサービス:200ポイント貯まるとお買物券発行!  
 ・JA利用による会員ランク制度:JA事業利用に応じて、ポイント獲得率がアップ!  
 ・協力店(地産地消応援サポーター):会員証提示で特典やサービスが受けられます。



## 購買事業

組合員や地域の皆さまに肥料・飼料等の生産資材や生活資材をできるだけ安く、良質なものを安定的に供給しています。



## ●生産コストの引き下げを目指して～スケールメリットの創出～

生産コスト引き下げのため、オリジナル肥料の普及拡大や予約供給拡大といった取り組みをすすめ、肥料・農薬等重点品目の地域最安値に挑戦します。

### ダンボール規格統一

きゅうり、チェリートマトに続き、新たにニラ・春菊・いちごで規格統一



### JAふくしま未来オリジナル肥料の開発

果樹7品目、野菜2品目、水稻5品目



肥料・農薬地域最安値を目指し—肥料24品目、農薬18品目で取り組みました。

## 介護・福祉事業

組合員が住み慣れた地域で長く生活が出来るよう、家で提供する訪問介護、施設に通える通所介護、ベッド・車いすを借りられる福祉用具貸与やオムツや介護食などの福祉用具販売など様々な介護サービスのほか、それらを総合的・効率的に計画する居宅介護支援なども行っています。

また、食を長く楽しめるよう歯科医院が、外来以外にもご自宅や施設へ往診を行っています。

地域の要望に応じて講演や発表なども実施しています。

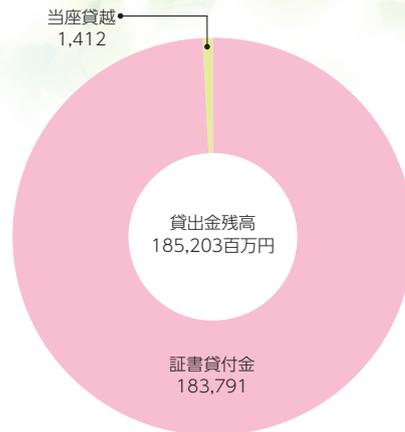
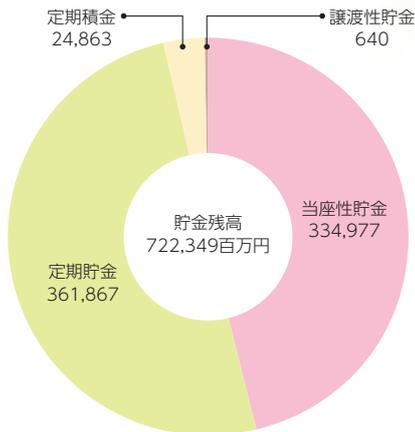




## 信用事業

組合員の皆さまなどからお金を預かり、それを農業振興や生活向上に必要な資金として融資しています。

JAの信用事業は「JAバンク」として全国のJAと手を携えた「JAバンクシステム」により安全に事業を行っています。



## 地域貢献

当組合は、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していく）を共通理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

### 農業メインバンク機能の強化

「農業近代化資金」、「アグリマイティー資金」、「JA農機ハウスローン」等、農業経営を応援します。

### 生活メインバンク機能の強化

「住宅ローン」、「教育ローン」、「マイカーローン」をはじめ、夢実現へ応援します。相続をはじめ各種相談にも対応しています。

### ●MA (マネー・アドバイザー)

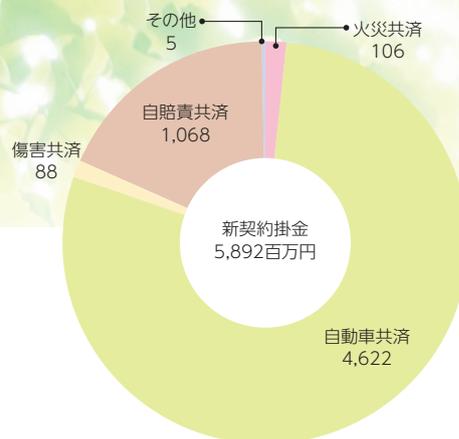
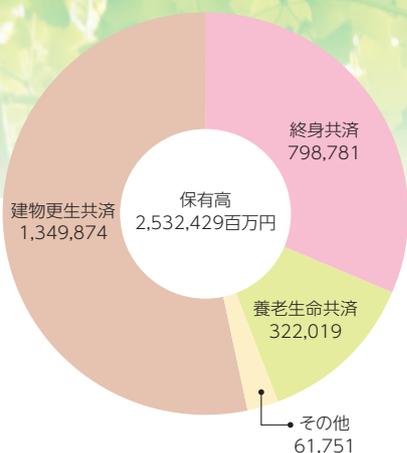
貯金・年金・融資など金融商品に関する専門知識を持ち、地域の方々のお役に立つよう、日々訪問活動を行っています。





## 共済事業

JA共済は、相互扶助を事業理念とし、「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供し、組合員の生活を守っています。



### ●スマイルサポーター

窓口におけるJA共済の「顔」として、組合員・地域の皆さまへ総合保障について相談・提案を行っています。



### ●LA (ライフ・アドバイザー)

JA共済について専門知識を持ち、ライフプランの相談を行っています。



### ●子会社再編

#### (株)JAふくしま未来サービス

令和元年9月、JA生活系事業分野（催事・食材）を加え、新たに出発し、経営基盤の強化、専門性の追求、事業規模の拡大を図りました。

さらなる組合員・地域サービスの向上に努めてまいります。



## 他部門等との連携について

### ●大学・協同組合間連携

- ・コープおおいた・エフコープ（福岡）と友好協力協定締結
- ・東京農業大学、福島大学食農学類と包括連携協定締結

### ●コロナ禍での学生への支援

米贈呈



### ●地域見守り活動

管内12市町村と連携して、高齢者や障がい者、子どもなどの日常生活を見守る「地域見守り活動」に全職員で取り組んでいます。



# 地域貢献について

組合員や地域の皆さまの生活意識・価値観に応え、地域の各組織と連携しながら、多岐にわたり地域社会の活性化に取り組んでいます。

食育教育や高齢者福祉、子育て支援事業などを通じ、「安心して暮らせる住みよい元気な地域づくり」に貢献しています。



## 食と農業の大切さを学ぶ ～食農教育～

### 学校教育支援事業

#### ● 花育授業

■小学校 延べ2,958人

#### ● バケツ稲づくり

■49回 延べ1,285人

#### ● 野菜苗定植・収穫

■幼稚園・小学校 延べ1,468人

#### ● 小学校へ食農教育資料の贈呈

■131校

### 親子農業体験イベント 【田植え、稲刈り】

#### ● 「みらいろアグリ塾」、 「ちびっこ農業大学」



## 心と体の健康づくり

#### ● 女性部交流健康ウォーキング大会

■過去最多の約320名参加

#### ● 健康増進活動

■34回実施 1,160人

#### ● ふれ愛グループ

■介護施設訪問慰問、1人暮らし高齢者訪問、幼稚園児との交流等

#### ● JA健康寿命100歳弁当コンテスト



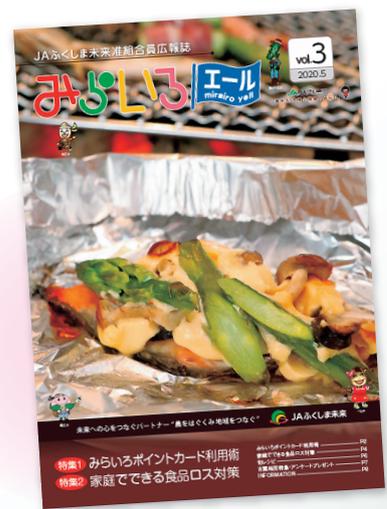
## 文化活動 ～生きがいがづくり・伝統継承～

- 女性部交流大会  
■723人 参加
- 女性大学「みらいスクール」  
■7回開催 延べ218人
- アグリカレッジ  
■4コース 19回 延べ325人
- ゆかた・着物パーティー  
■5会場 延べ510人
- きらり女性大学  
■7回開催 延べ73人
- 伝統料理教室、  
地産地消料理教室
- レディース講座  
■4回開催 延べ146人



## 情報提供活動

- 広報誌「みらい」の発行  
毎月発行の組合員向け広報誌
- 支店だより発行  
各地区の支店・営農センター単位で  
毎月発行している手書きによる広報誌
- コミュニティー誌「ぐ〜がる」の発行  
年4回発行の地域住民向けコミュニティー誌
- 准組合員向け「みらいエール」の発行  
年2回
- ホームページによる情報発信



## 地域くらし活動支援

管内の地域貢献や地域活性化に取り組むグループ団体等の活動（くらしの活動、高齢者支援活動、環境保全活動等）に1団体上限10万円の資金助成をしております。

# 事業実績

## ① 主な事業実績の推移

(単位:千円)

項目	平成30年度	令和元年度
貯金等残高	717,181,597	722,349,388
貸出金残高	175,926,755	185,203,827
有価証券残高	12,297,740	11,366,775
長期共済保有高	2,606,153,276	2,532,429,274
短期共済新契約高	6,078,621	5,892,418
購買品供給高	14,662,972	11,058,214
販売品販売高	28,663,154	28,813,083

貯金等 … 組合員や利用者等から受け入れている貯金や定期積金の額

貸出金 … 組合員・地方公共団体等への融資額

有価証券 … 所有する債券・株式等の額

長期共済 … 共済期間が5年以上

短期共済 … 共済期間が1年以内

購買品供給高 … 肥料・農薬・生活資材等の供給高

販売品販売高 … 果実・野菜・お米等の販売高

## ② 収益の推移

(単位:千円)

項目	平成30年度	令和元年度
事業収益	34,557,692	30,692,676
信用事業収益	6,142,068	5,785,214
共済事業収益	5,675,287	5,466,339
農業関連事業収益	16,847,282	16,150,839
生活その他事業収益	5,371,012	2,837,621
営農指導事業収益	522,041	452,661
経常利益	1,092,080	1,274,733
当期剰余金	787,022	859,089

(注) 1. 事業収益は各事業収益の合計額を表しています。

2. 当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。

農業関連事業 … 販売・購買(生産)・保管・加工・利用・農用地利用・全袋事業

生活その他事業 … 購買(生活)・介護福祉・旅行・その他・指導(生活)事業

### 3 貸借対照表

(単位:千円)

科目	平成30年度	令和元年度	科目	平成30年度	令和元年度
(資産の部)			(負債の部)		
1.信用事業資産	720,913,508	718,982,651	1.信用事業負債	729,391,019	733,779,433
2.共済事業資産	27,173	7,625	2.共済事業負債	3,487,888	3,313,269
3.経済事業資産	7,834,427	8,228,446	3.経済事業負債	2,460,799	3,148,738
4.雑資産	3,667,171	4,296,042	4.雑負債	2,497,203	2,481,708
5.固定資産	24,119,822	23,361,250	5.諸引当金	3,500,680	3,609,232
6.外部出資	29,655,749	36,715,141	6.再評価に係る繰延税金負債	2,483,719	2,454,797
7.繰延税金資産	1,022,452	1,098,939	負債合計	743,821,311	748,787,179
			(純資産の部)		
			1.組合員資本	36,926,326	37,583,338
			2.評価・換算差額金	6,492,668	6,319,578
			純資産合計	43,418,994	43,902,916
資産合計	787,240,306	792,690,096	負債及び純資産合計	787,240,306	792,690,096

### 4 損益計算書

(単位:千円)

科目	平成30年度	令和元年度
信用事業総利益	5,077,168	4,879,131
共済事業総利益	5,258,296	5,091,540
購買事業総利益	2,337,462	1,672,906
販売事業総利益	1,711,796	1,781,075
保管事業総利益	56,227	73,225
加工事業総利益	6,630	4,828
利用事業総利益	249,555	260,030
指導事業総利益	△ 281,700	△ 252,341
その他事業総利益	477,499	436,658
事業総利益	14,892,937	13,947,057
事業管理費	14,006,843	13,201,144
事業利益	886,094	745,913
事業外収益	681,339	1,087,712
事業外費用	475,353	558,892
経常利益	1,092,080	1,274,733
特別利益	575,745	583,417
特別損失	528,046	748,220
税引前当期利益	1,139,778	1,109,930
当期剰余金	787,022	859,089
当期末処分剰余金	1,613,294	1,850,608

# リスク管理の状況

(単位:千円)

区 分	平成30年度	令和元年度	増 減
破綻先債権額	21,894	17,059	△ 4,835
延滞債権額	463,353	301,482	△ 161,871
3か月以上延滞債権額	-	-	-
貸出条件緩和債権額	-	-	-
合 計	485,248	318,542	△ 166,706

## 注) 1. 破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金をいいます。

## 2. 延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものを以外の貸出金をいいます。

## 3. 3か月以上延滞債権

元金又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している貸出金で、破綻先債権及び延滞債権に該当しないものをいいます。

## 4. 貸出条件緩和債権

債務者の再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破綻先債権、延滞債権及び3か月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

## 自己資本の状況

### ●自己資本比率の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、令和2年2月末における自己資本比率は11.74%となりました。

### ●経営の健全性の確保と自己資本の充実

当JAの自己資本は、組合員の普通出資によっています。

## 普通出資による資本調達額

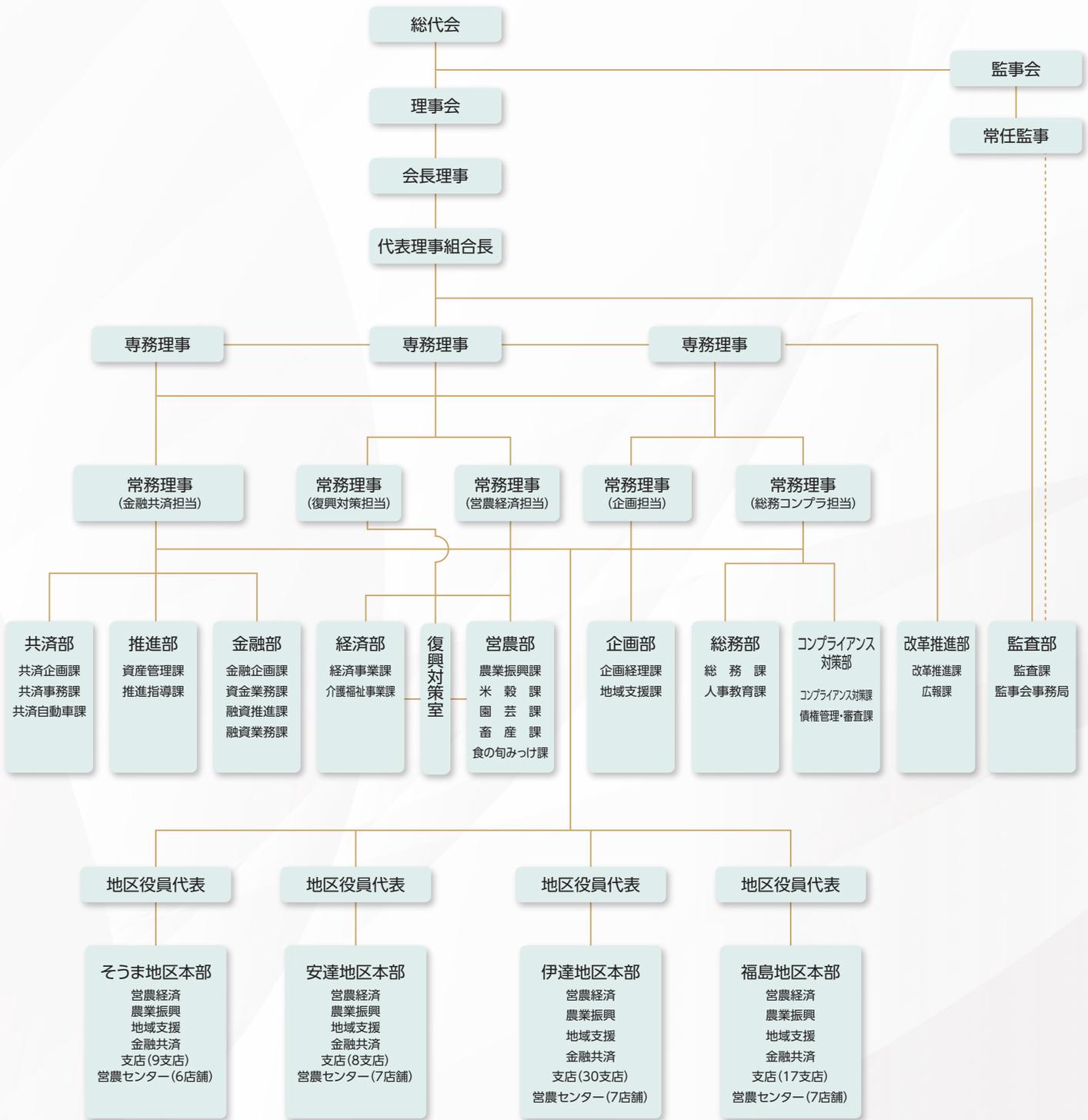
項 目	内 容
発行体	ふくしま未来農業協同組合
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る基礎項目に算入した額	15,998百万円(前年度15,960百万円)

当JAは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して、当JAが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに、内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。

また、19年度から、信用リスク、オペレーショナル・リスク、金利リスクなどの各種リスクを個別の方法で質的または量的に評価し、リスクを総体的に捉え、自己資本と比較・対照し、自己資本充実度を評価することにより、経営の健全性維持・強化を図っております。

# 組織機構図

(令和2年7月)



- 農産物直売所 ●ここら矢野目店 ●ここら大森店 ●ここら吾妻店 ●Yショップここら西店 ●ここら黒岩店  
 ●ここら清水店 ●ここら川俣店 ●みらい百彩館んめ〜べ ●こらんしょ市(二本松店)  
 ●こらんしょ市(本宮店) ●旬のひろば(原町) ●ふれあい旬のひろば(相馬)

- 子会社 ●(株)JAふくしま未来サービス ●(株)新ふくしまファーム ●みらいアグリサービス(株)  
 ●(株)アグリサービスそうま
- 子法人 ●社会福祉法人ジェイエエ新ふくしま福祉会アグリホーム



JAふくしま未来



## 管内の概要

JAふくしま未来は、福島県北東に位置し、中通り北部の県北地域の3JAと浜通り北部の相双地域の1JAが合併して誕生しました。管内面積は福島県全体の19%ほどで、県北地方は中心地域を南北に縦貫する形で阿武隈川が流れ、その流域に盆地が広がっています。地域内には温泉をはじめ、多くの観光資源を有するとともに、もも、りんご、なし等全国有数の果樹地帯を形成しています。海に面した相双地域は、太平洋と阿武隈高地に囲まれて気候は温暖で降雪も少なく、快適な居住環境で、平坦部では水稲、山間部では畜産が盛んです。その他全域において、数多くの園芸品目が生産されています。

